

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリング名

H18No.2 (堤内)

調査位置

北緯

36° 19' 01.0000"

発注機関

足利土木事務所 河川砂防部

調査期間

2006-12-16 ~ 2007-03-09

東経

139° 32' 32.0000"

調査業者名

主任技師

現場代理人

コア鑑定者

ボーリング責任者

孔口標高

97.87 m

角度

180°

上

90°

下

0°

0.00°

方向

北

0°

270°

西

180°

南

90°

東

地盤勾配

鉛直

0°

25.00°

使用機種

試錐機

エンジン

ハンマー

落下用具

ポンプ

総掘進長

7.45 m

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名および結果	試料採取		室内試験	掘進月日	
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 貫入量		深度	試験番号			採取方法
												0	10	20							
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)				
1	97.67	0.20	0.20		褐灰 褐灰 褐灰	非常 に緩 い	軟 らか い	シルト混じり砂に、φ1~2cmの重円礫が混じる。 φ1cm以下の円礫が混じり、多少不均質。 全体にシルトが混じる細~中粒砂。淘汰の良い砂からなる。		01/25 1.85											
	97.37	0.30	0.50		暗褐 褐灰																0.50
2	96.57	0.80	1.30		暗褐 褐灰	非常 に緩 い	軟 らか い	有機質な黒色シルト。細粒砂混じり。φ1~2cm程度の重円礫を所々含む。			1.15	1/24	1/14	2/38	2						
	95.57	1.00	2.30		淡褐																2.15
3	95.02	0.55	2.85		褐	非常 に緩 い	軟 らか い	細粒砂が混じるシルト。ほぼ均質。含水少ない。			2.15	1/20	1/12	2/32	2						
	95.02	0.55	2.85		褐																3.15
4	93.87	1.15	4.00		褐 褐	中 位	中 位	φ1cm程度の亜角礫が混じる褐色シルト。最大礫径3cm。 [4.65]4.65~4.7m付近：黒色のマンガガンが薄層状に分布。			3.00	00/20	1/30	1/50	1						
	93.17	0.70	4.70		褐																
5	93.17	0.70	4.70		褐	中 位	中 位	φ1cm程度の亜角礫が混じる中粒砂。全体にシルト混じり。 [5.00]5.0m付近：黒色マンガガン付着。 [5.00]5.0~5.5m：ベネ試料は、砂分少なく礫が多い。			4.15	2	5	2	9/30	9					
	92.17	1.00	5.70		褐 褐灰																
6	92.17	1.00	5.70		褐 褐灰	中 位	中 位	全体にシルトが混じる砂礫。砂は中~粗粒砂主体。礫はφ0.5~1cmの亜角礫主体。最大礫径3cm。			5.15	10	5	4	19/30	19					
	90.47	1.70	7.40		褐 褐灰																
7	90.47	1.70	7.40		褐 褐灰	中 位	中 位				6.15	11	11	10	32/30	32					
											7.15	8	10	11	29/30	29					
											7.45										